

## 3 D レーザースキャナーの定点測定について

- i. 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会 第22回会合  
資料3 - 1 「現地調査の実施状況について」

1. これまでの調査・分析では、4号機原子炉建屋4階を中心に3Dレーザースキャナーによる測定を実施してきた。その結果、天井部や梁の詳細なデータの蓄積が進みつつある。
2. 本年7月20日の現地調査では、同一箇所に対して、定期的な測定を実施することにより、経年変化の状況を把握し、今後の事故分析に活用するため、4号機原子炉建屋4階に3Dレーザースキャナーの測定基準点(ターゲット球)を設けた。
3. 今後、定点測定の調査範囲を拡張し、4号機原子炉建屋3階等にも3Dレーザースキャナーの測定基準点(ターゲット球)の設置を検討している。

# 現地調査の実施状況について

2021年9月14日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

( 3 ) 4号機原子炉建屋内調査について  
( 2021年7月20,21日 )

## ( 3 ) 4号機原子炉建屋内調査の実施概要

### (1) 目的

これまでの現地調査等において、4号機原子炉建屋については、4階を中心に3Dレーザースキャナーによる測定を実施してきた。その結果、天井部や梁の詳細なデータの蓄積が進みつつある。

今回、同一箇所に対して、定期的な測定を実施することにより、経年変化の状況を把握し、今後の事故分析に活用するため、4号機原子炉建屋4階に3Dレーザースキャナーの測定基準点を設ける作業等を行った。作業にあたっては、東京電力ホールディングス株式会社(以下「東京電力」という。)の廃炉作業等への影響を避けるため、東京電力の協力のもと原子力規制庁職員が行った。また、4号機原子炉建屋4階西側の差圧調整ダクト及び空気作動弁の作動状態の再調査を行った。

### (2) 場所

4号機原子炉建屋4階(現地調査日:2021年7月20日、21日)

## ( 3 ) 4号機原子炉建屋内調査の実施概要

### (3) 調査日

2021年7月20日、21日

### (4) 調査実施者

2021年7月20日 原子力規制庁職員 3名

2021年7月21日 原子力規制庁職員 3名

東電職員2名同行。

### (5) 被ばく線量

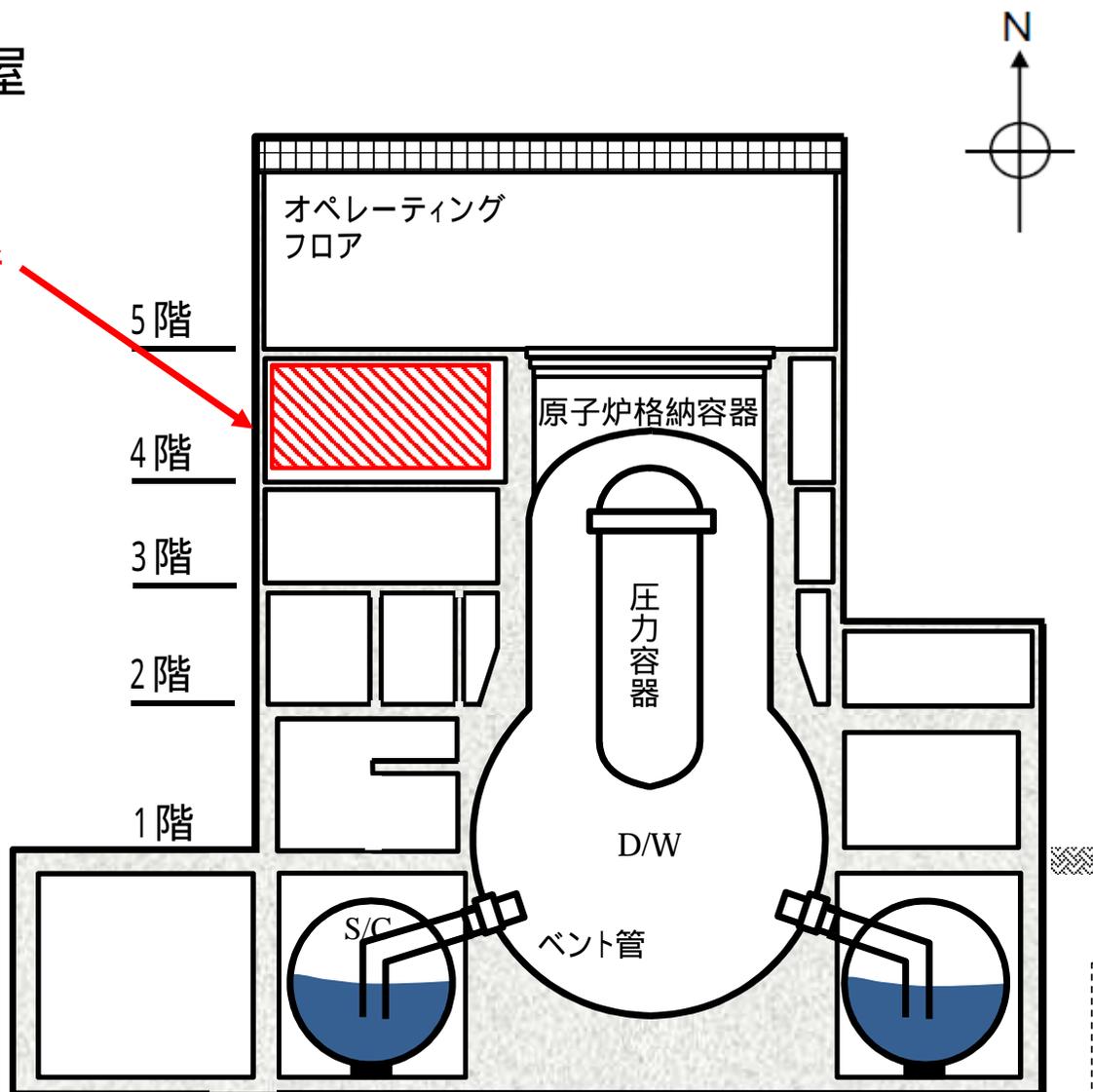
2021年7月20日 最大:0.1 mSv、最小:0.08 mSv

2021年7月21日 最大:0.35 mSv、最小:0.05 mSv

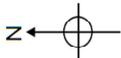
被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値(同日に複数の調査を実施した場合は、他の調査による被ばく線量との合算値)として示した。

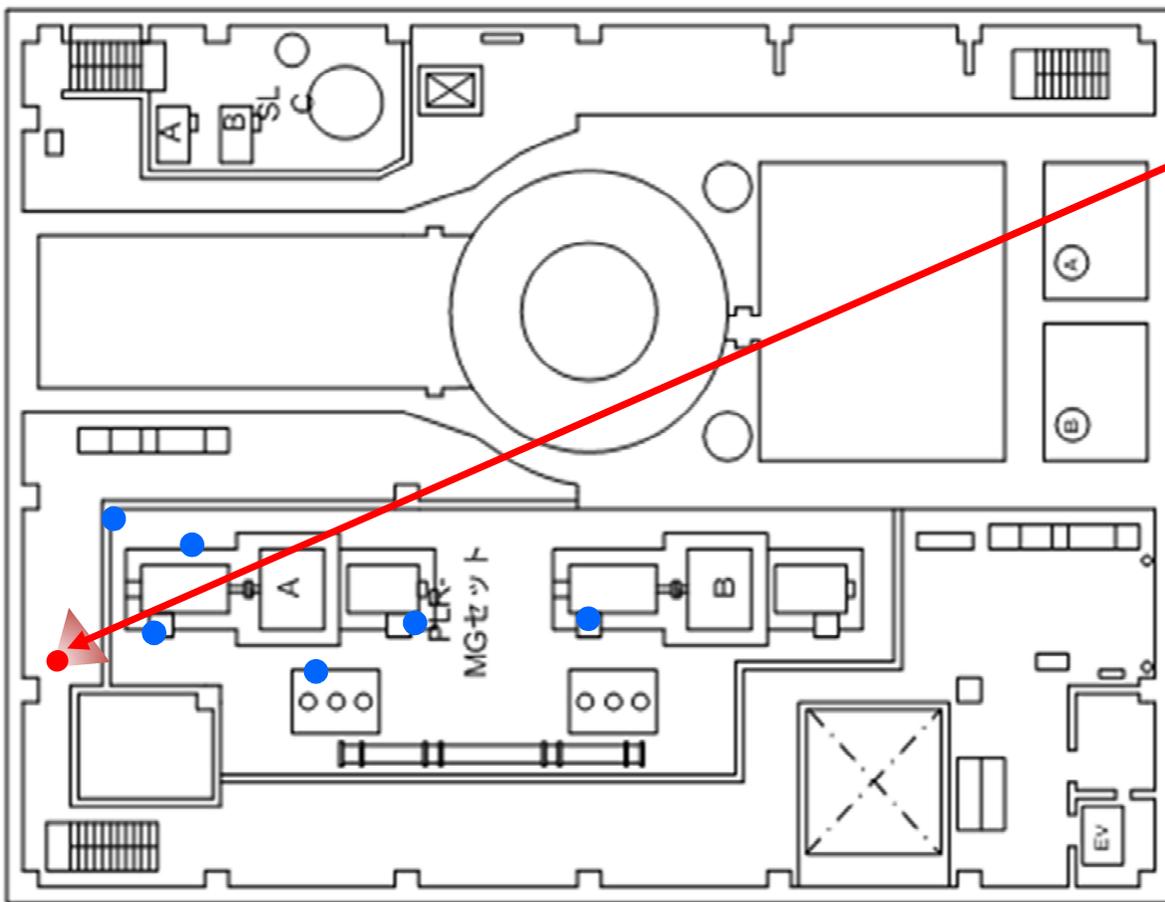
# 4号機原子炉建屋 (東西断面)

現地調査箇所



東京電力「福島第一原子力発電所  
原子炉設置変更許可申請書」  
(平成15年6月現在)を基に作成

4号機原子炉建屋4階(平面図) 



図面は、東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会第10回会合資料3より抜粋、一部加工

● : 測定基準点 (2021年7月20日設置)

測定基準点を設置し、定期的な測定を実施予定。



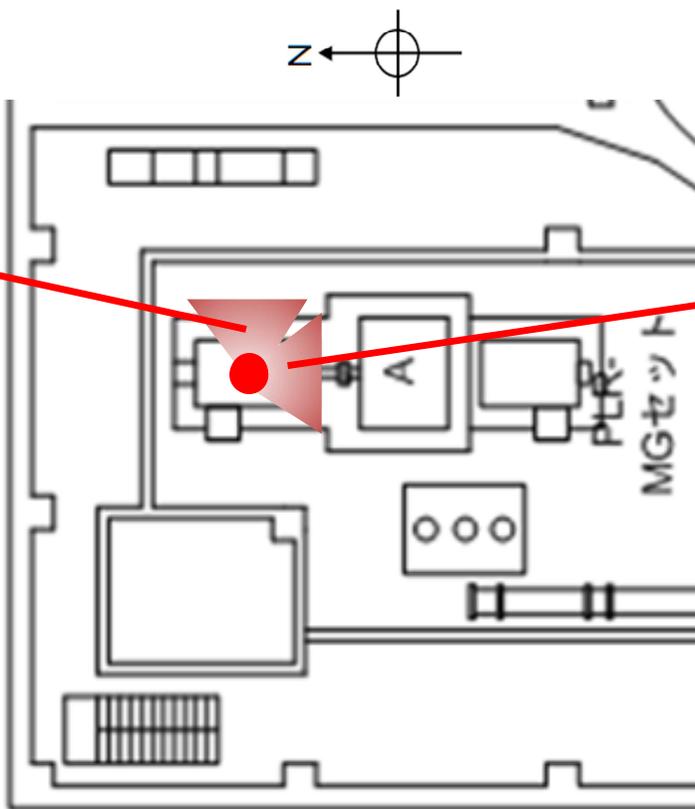
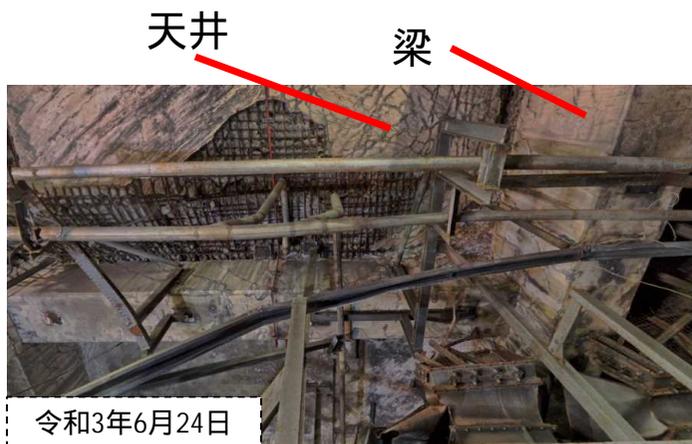
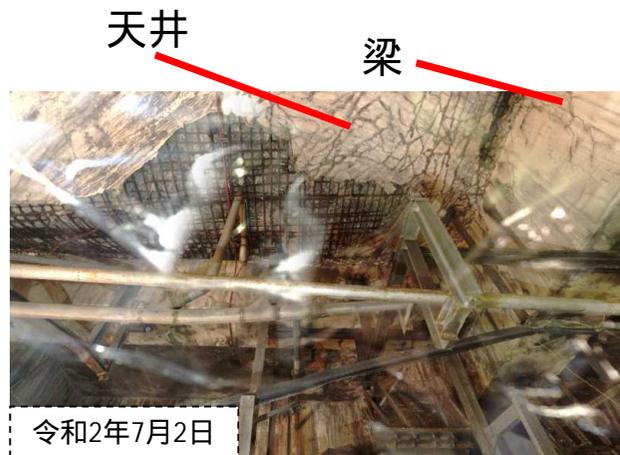
2021年7月20日原子力規制庁撮影



3Dレーザースキャナーのターゲット球  
測定基準点として、3Dレーザースキャナーのターゲット球を設置。

# 4号機原子炉建屋4階の状況(北西側天井付近(画像))

【参考】



写真は、いずれも原子力規制庁撮影

東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会第21回会合資料3-1より抜粋、一部加工